

平成28年度 年間授業計画

都立小山台高等学校・定時制課程

1	教科・科目	数学・数学 I	2	単位
2	対象学年	2	年	
3	教科担当者	中嶋	使用教材 なし	
4	使用教科書	高校数学 I ・実教出版		

5 年間授業計画

学期	月	単 元 (指導内容)	具体的な指導目標	予 定 時数
1学期	4月	第3章 三角比 第1節 三角比 1. 三角形 2. 三角比	・相似な三角形, 三平方の定理などについて復習し, 確認する。・ $\tan A$, $\sin A$, $\cos A$ の意味を理解し図形の計量に活用できるようにする。・ $\tan A$ と $\sin A$, $\cos A$ の関係や $\sin A$ と $\cos A$ の関係を学び, 図形の計量に活用できるようにする。	1 2
	5月	3. 三角比の利用 4. 三角比の相互関係 中間考査		
	6月	第2節 三角比の応用 1. 三角比の拡張 2. 三角形の面積	・座標を用いて, 三角比を 0° から 180° まで拡張し, 鈍角の三角比の値を求められるようにする。・2辺とその間の角の正弦を用いて, 三角形の面積を求めることができるようにする。・3つの辺と3つの角の正弦の関係を学び, 活用できるようにする。・2辺とその間の角の余弦を用いて, 三角形の他の1辺の長さを求めることができるようにする。・三角比を用いて, 平面上の距離や空間における距離を測量できるようにする。	1 2
	7月	3. 正弦定理 4. 余弦定理 5. 正弦定理と余弦定理の利用 期末考査		
2学期	9月	5章 データの分析 第1節 データの整理	・中学校以前で学んだ統計グラフを復習する。・中学校以前で学んだ度数分布表を復習する。・中学校で学んだ平均値・中央値・最頻値について復習し, 確認する。・四分位数の意味を理解し, それをもちいて四分位範囲・四分位偏差を求めることができるようにする。	1 4
	10月	1. 統計とグラフ 2. データの整理 第2節 データの分析 1. 代表値 中間考査		
	11月	2. データの散らばり 3. 相関関係		
	12月	期末考査	・分散と標準偏差を求めることができるようにする。 ・相関関係について理解し, 相関係数を求めることができるようにする。	1 4
3学期	1月	数学 I 全般の復習	・数と式 ・2次関数 ・三角比 ・集合と論証	1 8
	2月			
	3月	学年末考査		

6 学習者への注意

出席を常とし、日々の授業を大切にし、ノート等の提出物は必ず提出する。

7 評価の観点、方法

定期試験の得点を基本とし、授業態度・出席状況・授業に対する姿勢・提出物などを加味し評価する。